

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度	科目名	ボランティア2	
科目基礎情報						
開設学科	コンサート・イベント科		コース名	全コース	開設期	通年
対象年次	2年次		科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位				授業形態	実習
教科書/教材	必要に応じて配布する					
担当教員情報						
担当教員	田中朋子/島立麦人/富樫咲子/小峰建/吉野雄一郎/山下顕治			実務経験の有無・職種	無	
学習目的						
地域連携と地域貢献が目的である。自身の生活する地域社会において起こる社会問題や課題の解決に対して、単に行政や他者に求めるだけではなく、自分自身が自発的・主体的に関わる事で深い理解を示す。 また参加する事で従来にない新たな活動を展開する“先駆性”を生み出し、“受ける側”の個々のニーズに対応できる“個性”を実現する。						
到達目標						
単純に参加するだけではなく、地域の特性、その参加者の年齢層や男女比など総合的に理解したうえで地元住民との話し合いを経て最高のパフォーマンスが発揮できる状況を作り出す。地域の参加者にとっては新たな刺激を受け、参加する学生達は感謝される喜びや奉仕の精神について学び人と人との結びを学ぶ。						
教育方法等						
授業概要	太田区からの依頼を中心に展開して行く。引率教員を中心にチームを組み、より深く地域社会との繋がりを持つことが目的なので催事、イベントへの参加者の意図を組みながら学生の持つスキルの向上にも努め、双方の向上に繋げる。					
注意点	地域、学生どちらか一方の主張が強くなりすぎないように話し合いの機会を設けて双方の理解を深めてのぞませる事。小さな子供からお年寄りまで幅広い年齢に対応するため言葉使いや接する態度などを事前に認識してのぞむ事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することが出来ない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	0%				
	小テスト	0%				
	レポート	40%				
	成果発表 (口頭・書面)	0%				
	平常点	60%				
授業計画（1回～5回）						
回	授業内容			各回の到達目標		
1回	事前打合せ			催事のテーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる		
2回	事前準備			事前調査によって整理した情報を他者と共有する		
3回	催事への参加			知的好奇心をもつてのぞみ、見識を深め、催事テーマについて深層まで探究することができる		
4回	参加状況のまとめ			催事内容を振り返り、新たな発見や自信のスキルを認識することができる		
5回	結果報告・レポート作成			結果報告、自ら調査した事柄を他者と共有するために、情報を整理して説明することができる		